



2011年春組フレディ
(小学5年生/左)

うすい
碓井 なずな

2011年夏組フレディ
(中学1年生/右)

いさか みづき
井坂 泉月



「国際森林年子ども大使」として森の大切さをアピール!

— 国際森林年子ども大使として、どのような活動を行いましたか。一番印象に残っていることは？

碓井さん 全国植樹祭や様々なイベントで森林の大切さをアピールしたり、実際に植樹や間伐も体験しました。特に生まれてはじめての植林は、がんばって植えたので、一番印象に残っています。すごい急斜面に木を植えることも、子ども大使になつてはじめて知りました。

井坂さん イベントなどで「国際森林年アピール宣言」をして、来ていただいたお客さまに少しでも森に興味を持ってもらえるようにしました。あと、植樹や間伐などの活動も行いました。特に、間伐をした時のことが印象に残っています。なぜなら森の中に木がたくさんあると光が入らないから、伐らないといけないことは知っていたけれど、予想以上にたくさん伐って、しかもいろいろな工夫があったからです。

— 活動の中で楽しかったこと、逆に大変だったことは何でしたか。

碓井さん 楽しかったのはイベントに参加できたことです。色々な場所で、初めて出会うた

くさんのお客さまの前で、歌をうたえたので、とても楽しかったです。大変だったことは、間伐です。細い木でも、木を伐るのは、とても大変でした。

井坂さん 楽しかったのは植樹です！木がない所に新しい命を入れるというのは、すぐくワクワクしました。大変だったことは、イベントなどでインタビューがあった時に、緊張してなかなかその場で言葉が出てこなくて苦労しました。

— 日本の森林はどうなっていますか。

碓井さん 今年は、震災でたくさん森林が失われてしまいました。植樹や間伐など、人々の努力で、日本の森林が増えていったらいいと思います。

井坂さん 地震や津波、台風の被害を受けた土地は緑が減ってしまったと思うので、そこにたくさん木を植えて、いつか森に

なつてほしいです。もちろん他の森林もちゃんと間伐などのお手入れをして、木材を輸入しなくていいようにしてほしいです。

— 子ども大使をやったことで、「葉っぱのフレディ」の演技に影響がありましたか。

碓井さん 子ども大使になつてから、木や植物、虫をじっくり見るようになり、特に葉っぱをよく見ていたので、一枚一枚の葉っぱの気持ちを考えながら演じられたかな…、と思います。

井坂さん 舞台では、森に入るといい香りがして落ち着いたりしたことなどをイメージしながらやりました。そうすると本当に葉っぱになったみたいなのがしました。子ども大使の活動を通して、作品の中にも出て来る葉っぱたちの「大切な仕事」の意味を理解できました。

— 将来の夢は何ですか。

碓井さん 女優になりたいです。
井坂さん 将来の夢はたくさんあつて、まだ決まっています。今のところは女優、東京ディズニーリゾートのキャストかダンサー、幼稚園の先生になりたいと思っています。